

次期戦略的イノベーション創造プログラム (SIP) の課題候補、制度設計の検討について

令和3年9月9日

内閣府

科学技術・イノベーション推進事務局

SIP/PRISM総括



次期SIPの検討の進め方

■ 検討の進め方

- ・次期SIP課題候補案は、第6期科学技術・イノベーション基本計画に基づき、**令和3年末に向けて検討**を行う。
- ・この課題検討を含めた具体的なスケジュールを設定し、議論を進める。
- ・課題候補案の検討にあたり、CSTI有識者会合（木曜会合）での議論に加え、内閣府のみならず、関係府省庁や産業界からの意見聴取などを実施する。

当面の間、**SIP制度についての検討等と併行して、以下の方法で課題候補案の検討**を進めることとしている。

1) CSTI有識者議員との意見交換（個別及び木曜会合）

2) **課題候補案の募集**

内閣府科技内（各戦略、各課題等）

← 6/17締切、順次ヒアリング

関係府省庁、管理法人

← 6/24締切、順次ヒアリング

経済団体（経団連、COCN等）

← 8/20締切

3) 産業界連携による課題候補案の検討

次期SIP提案状況

- ・合計64件、うち内閣府14件、各省庁32件（内閣府との共同2件）、管理法人2件、産業界18件の提案あり。
- ・従来にない視点の提案もあったが、従来のSIPとの違い、府省連携の体制、基礎から実用化までの一貫した取組が不明確なものが多く、ウェルビーイングやカーボンニュートラルなどの社会課題の視点からの総合的な提案が少なかった。

領域	提案件数（内訳）
量子・光	7件（内閣府2件、各省庁4件、産業界1件）
AI、IoT、データ連携	3件（内閣府3件）
セキュリティ	2件（各省庁2件）
マテリアル	4件（内閣府2件、各省庁2件（内閣府と共同1件）、産業界1件）
バイオ・食料	4件（内閣府1件、各省庁1件、管理法人1件）
ウェルネス	10件（内閣府1件、各省庁5件、管理法人1件、産業界3件）
モビリティ	5件（内閣府1件、各省庁3件（内閣府と共同1件）、産業界2件）
物流	1件（各省庁1件）
スマートシティ	3件（内閣府1件、各省庁1件、経済界1件）
防災	10件（内閣府1件、各省庁5件、産業界4件）
インフラ	7件（内閣府1件、各省庁6件）
ものづくり	2件（産業界2件）
エネルギー	3件（産業界3件）
海洋	2件（内閣府1件、各省庁1件）
環境	2件（内閣府1件、各省庁1件）
社会システム	1件（産業界1件）

- ・この他、経済団体から、次期SIPで取り組むべき課題について全般的な意見あり。

課題候補選定に向けたプロセス案

■プロセス案

- ① **課題候補選定に向けた検討状況報告（ガバニングボード）** **（9月9日）**
 - ☆内閣府内、関係府省庁、経済団体等からの提案状況の整理
 - ☆課題候補選定に向けたプロセス案
 - ※その後、課題候補のアップデートに応じて、検討状況を報告

- ② **課題候補選定に向けた集中討議（CSTI有識者議員非公式打合せ）** **（9月16日）**
 - ☆NEDO/TSC、JST/CRDS、東大等から将来像や俯瞰図に係るヒアリング
 - ☆将来像や俯瞰図を踏まえ、次期SIPで府省庁連携、産学官連携により取り組むべき課題を検討
 - ※その後、経済団体等からのヒアリングも検討

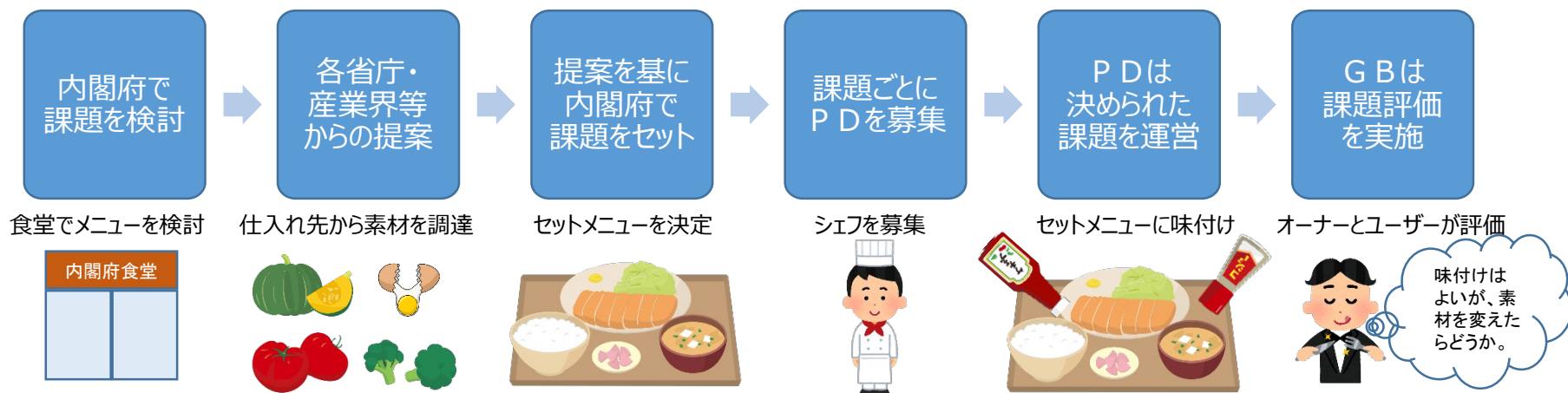
- ③ **次期SIPに向けた制度・運用面の課題の整理（ガバニングボード）** **（10月頃）**
 - ☆SIP第2期制度中間評価の論点の反映状況
 - ☆SIP第2期のPD報告でのPDからの指摘・要望整理
 - ☆内閣府内、関係府省庁、管理法人、経済団体等の意見の整理

- ④ **次期SIPの制度設計の方向性の決定（ガバニングボード）** **（11月頃）**

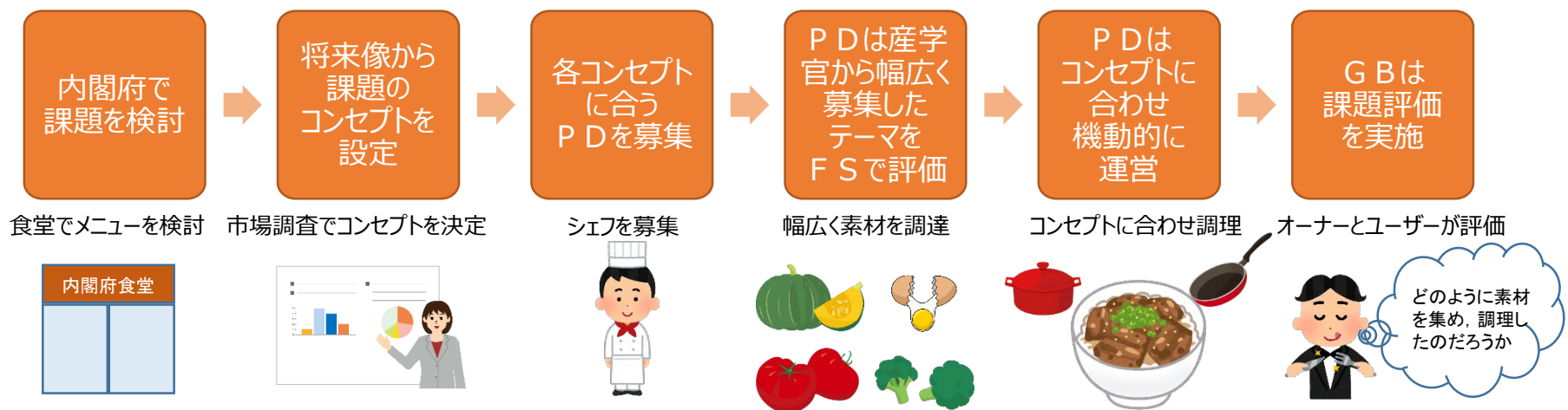
- ⑤ **課題候補選定（ガバニングボード）** **（12月中）**

(参考) 次期SIPの課題設定方法の見直し (イメージ)

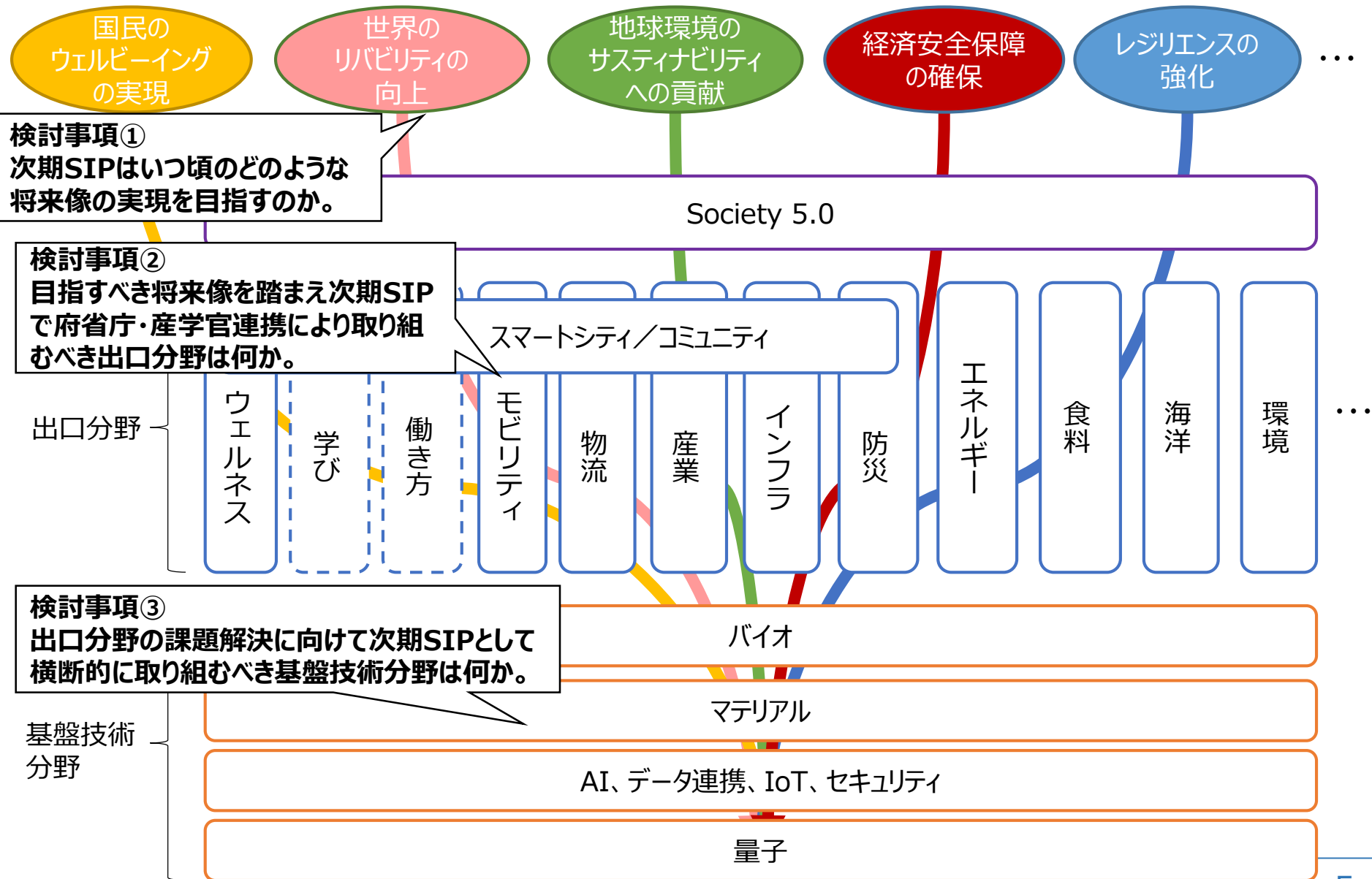
従来の課題設定フロー



新しい課題設定フロー



将来像からのバックキャストのイメージ



※実線は提案があった分野、破線は提案がなかった分野

SIP制度設計に向けた検討の進め方

■ 検討の進め方

- (1) 次期SIPに向けて、現行SIPでの制度面や運用面の課題について、昨年度の中間制度評価での論点、PD報告での指摘・要望、経済団体からの提案、内閣府内・関係省庁・管理法人からのヒアリングなどを踏まえ、論点整理を行う。
- (2) 論点整理を踏まえ、制度設計の方向性を取りまとめ、GBに報告する。

■ 論点の例

- PDの機能
 - ✓ PDが機動的に運営できる仕組みが確保されているか。利益相反などハードルがあるのではないか。
- PD、内閣府担当、管理法人の役割分担
 - ✓ マネジメントが重疊的で非効率な面があるのではないか。管理法人のマネジメント機能が生かせているか。
- 関係省庁との連携
 - ✓ 関係省庁の役割が明確になっているか。連携体制が形骸化していないか。
- 企業のコミットメント
 - ✓ 一律にマッチングファンド方式を適用すべきか。社会実装の形態で企業のコミットの仕方は異なるのではないか。
- 社会実装に向けた仕組み
 - ✓ 企業単独での社会実装が難しい場合、関係省庁等が継続的に支援する仕組みが必要ではないか。
- 課題設定方法
 - ✓ PDがテーマの収集、検討の段階から関わるべきではないか。（前掲ページ参照）